

## 平成26年平均の結果 (農林漁家世帯を含む)

### 二人以上の世帯

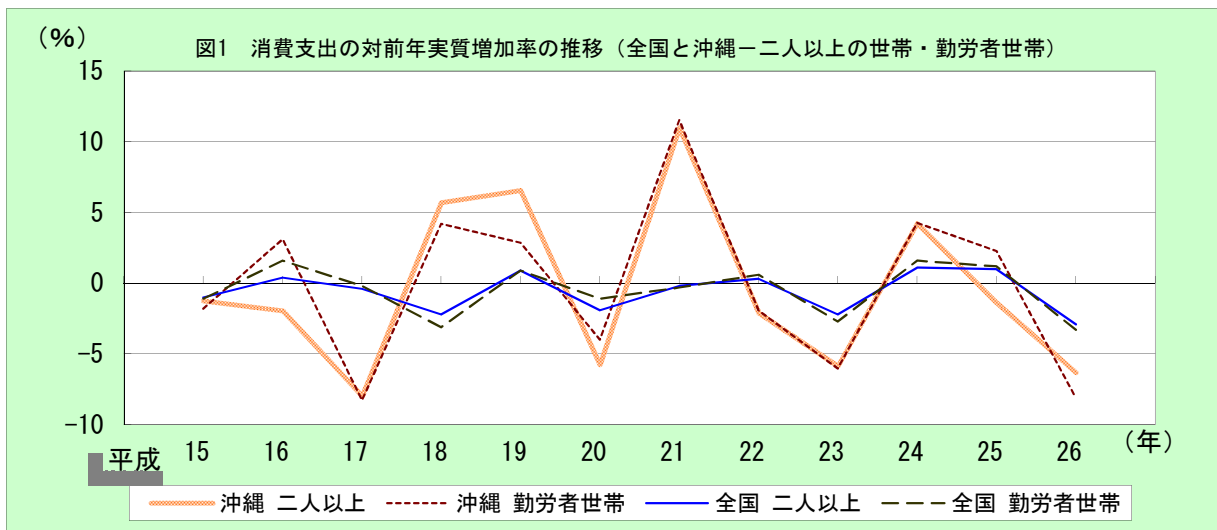
◎消費支出は、1世帯あたり 212,833 円  
 前年比 名目 3.7% 減少 実質 6.3% 減少

### 1. 二人以上の世帯の家計

平成26年の二人以上の世帯の一世帯あたりの消費支出は、前年(実質)に比べ6.3%減少となり、2年連続で減少となった。

全国の水準(291,194円)を78,361円下回っている。

内訳(実質増減率の寄与度)をみると、交通・通信、家具・家事用品等の3費目で増加となったが、住居、食料等の7費目で減少し、全体でも減少に転じた。



### 二人以上の世帯のうち勤労者世帯

◎消費支出は、1世帯あたり 239,923 円  
 前年比 名目 5.5% 減少 実質 8.1% 減少

◎実収入は、1世帯あたり 376,282 円  
 前年比 名目 2.8% 減少 実質 5.4% 減少

◎可処分所得は、1世帯あたり 325,508 円  
 前年比 名目 1.7% 減少 実質 4.4% 減少

### 2. 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計

平成26年の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の一世帯あたりの消費支出は前年(実質)に比べ8.1%減少となり、3年ぶりに減少となった。

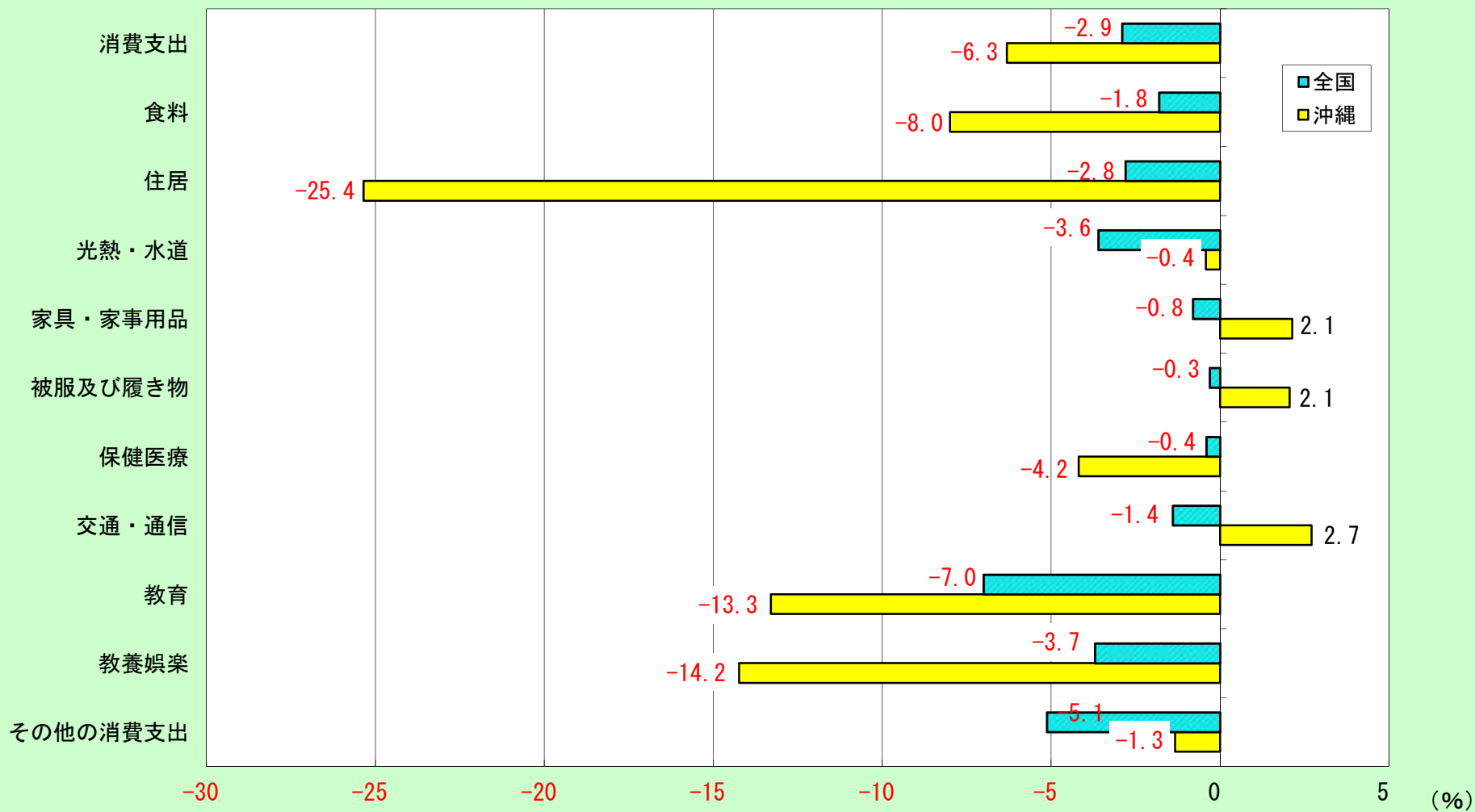
全国の水準(318,755円)を78,832円下回っている。

一世帯当たりの実収入を前年比(実質)でみると、5.4%減少となり、2年連続で減少となった。

全国の水準(519,761円)を143,479円下回っている。

内訳(実質増減率の寄与度)をみると、その他の世帯員収入で増収となったが、世帯主収入、配偶者の収入等で減収となり、全体でも減収となった。

図2 10大費目の対前年実質増加率 (平成26年平均—全国と沖縄・二人以上の世帯)



\*「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた

図3 消費支出の対前年実質・名目増加率の推移（沖縄—二人以上の世帯・二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

(%)

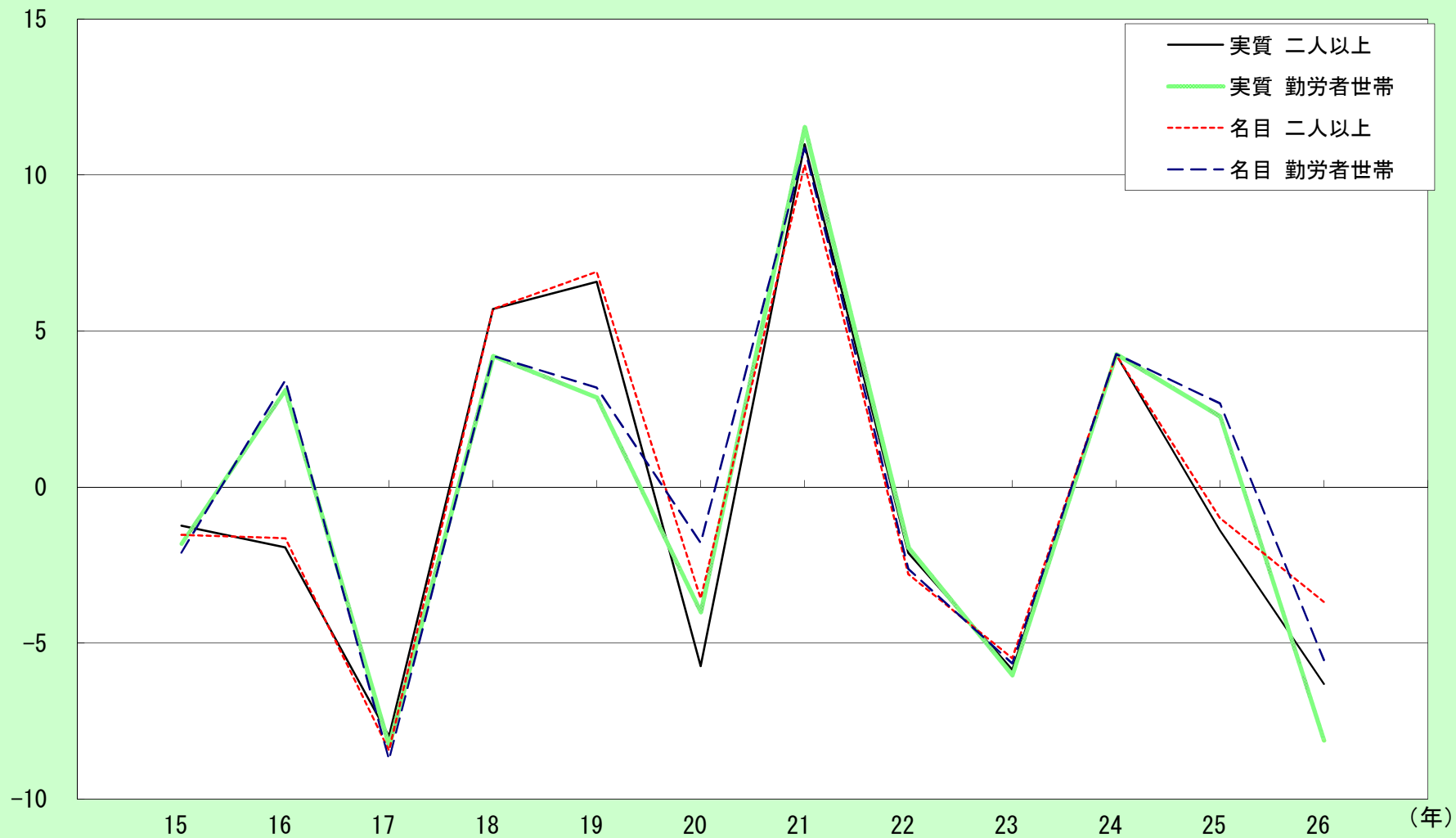


図4 10大費目の対前年実質・名目増加率（平成26年平均—沖縄・二人以上の世帯）

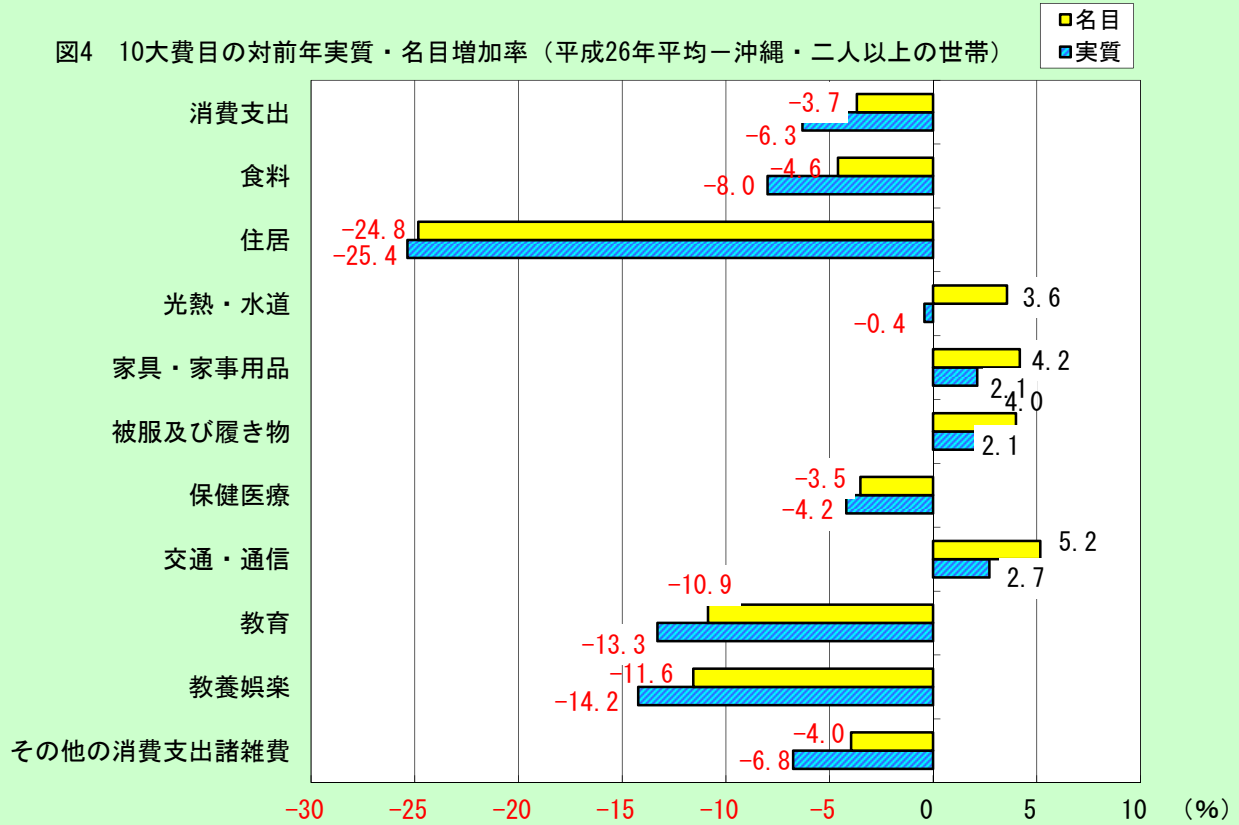


図5 10大費目の対前年実質・名目増加率（平成26年平均—沖縄・勤労者世帯）

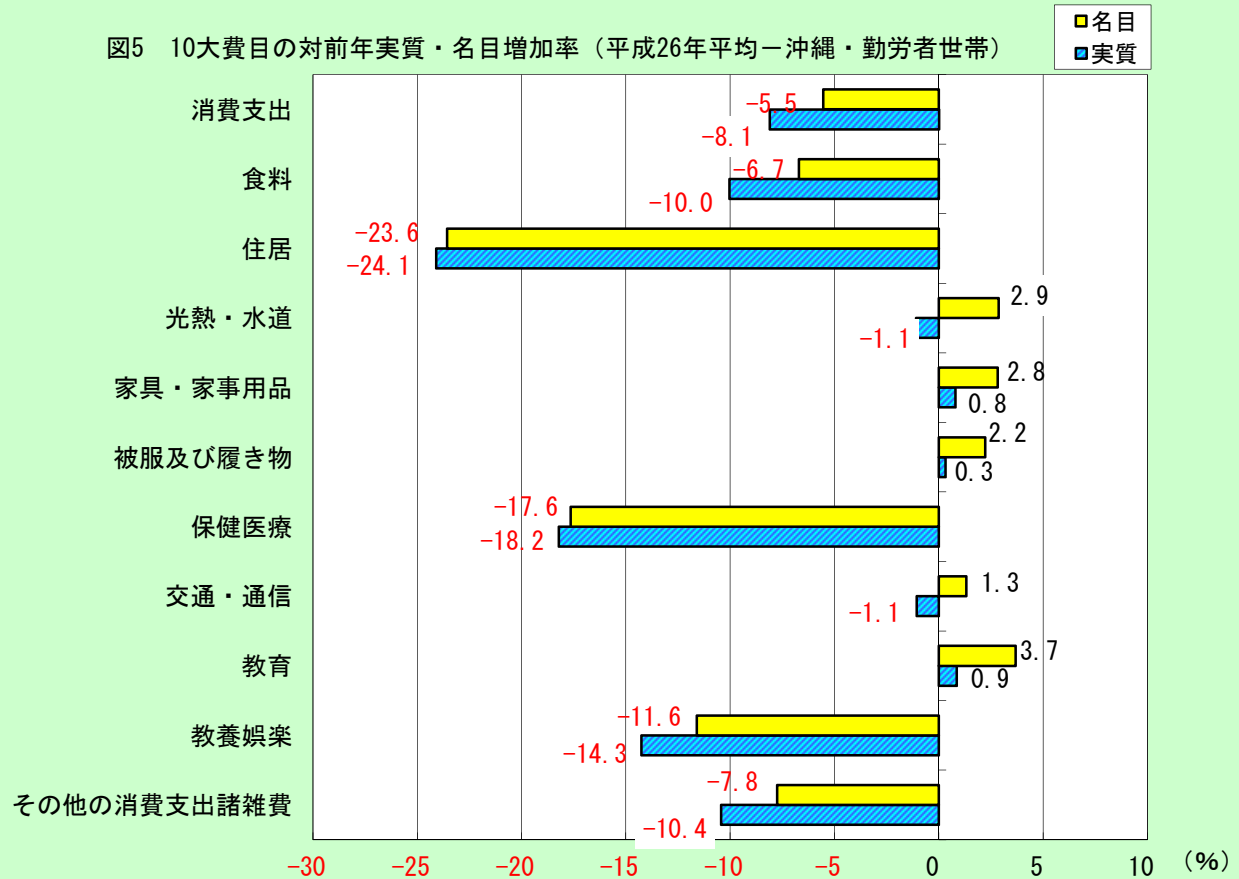
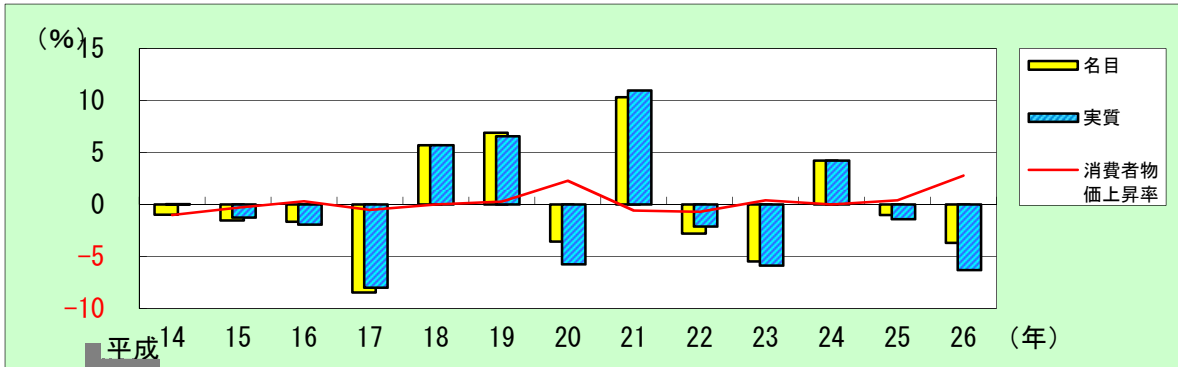
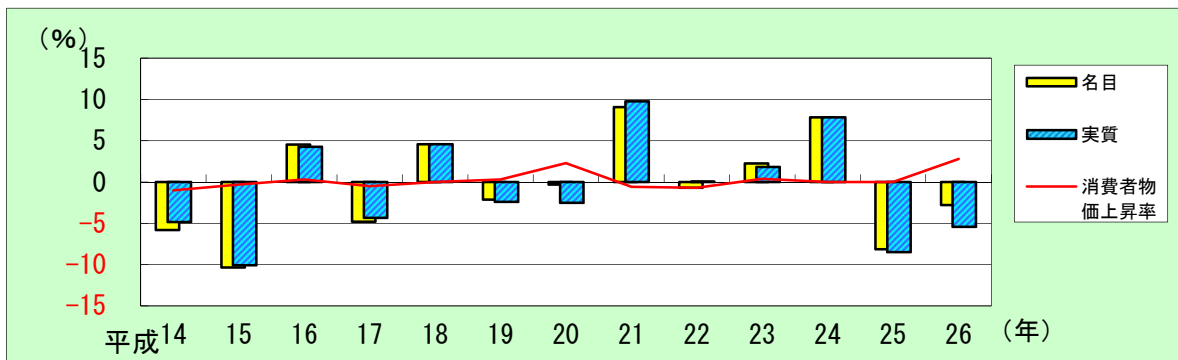


図6 対前年増加率の推移 (沖縄県)

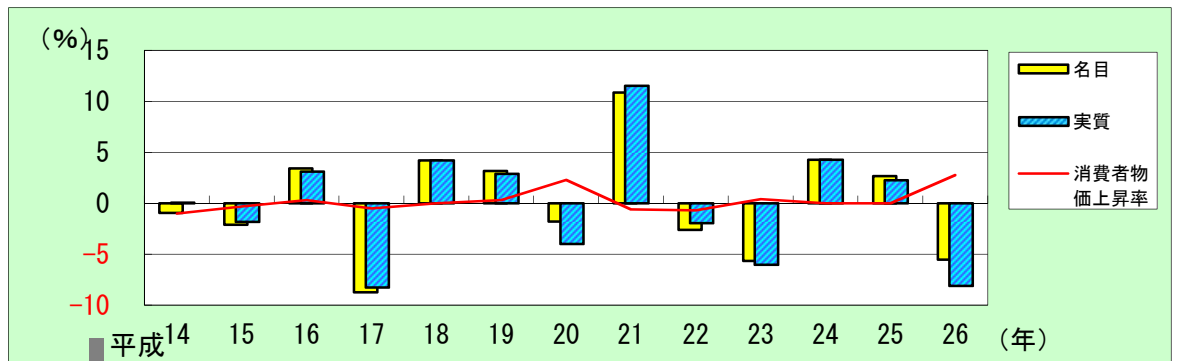
1. 消費支出の対前年増加率の推移 -二人以上の世帯-



2. 実収入の対前年増加率の推移 -二人以上の世帯のうち勤労者世帯-



3. 消費支出の対前年増加率の推移 -二人以上の世帯のうち勤労者世帯-



4. 可処分所得の対前年増加率の推移 -二人以上の世帯のうち勤労者世帯-

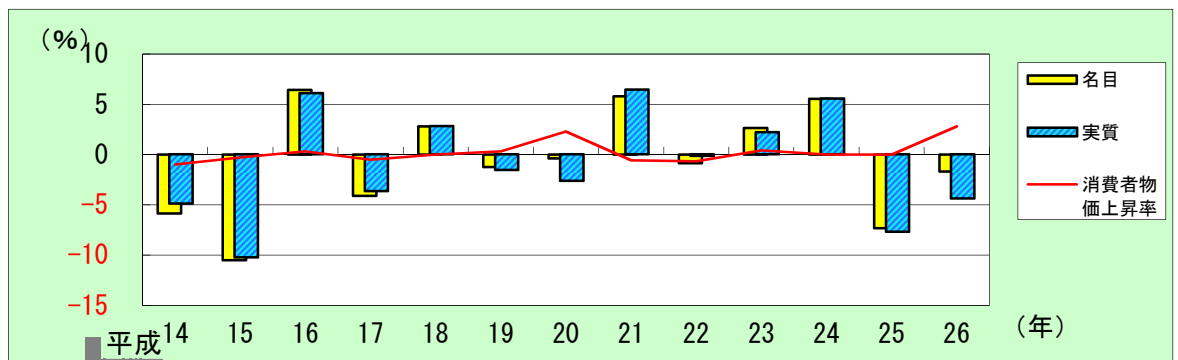


表3 消費支出の費目別構成比 (平成26年平均)

項目	二人以上の世帯		二人以上の世帯のうち勤労者世帯	
	月平均額 (円)	構成比 (%)	月平均額 (円)	構成比 (%)
消費支出	212,833	100.0	239,923	100.0
食料	53,203	25.0	55,272	23.0
住居	17,257	8.1	24,163	10.1
光熱・水道	20,124	9.5	19,912	8.3
家具・家事用品	7,782	3.7	7,960	3.3
被服及び履物	6,369	3.0	7,844	3.3
保健医療	9,476	4.5	8,457	3.5
交通・通信	33,250	15.6	39,155	16.3
教育	7,688	3.6	12,204	5.1
教養娯楽	15,879	7.5	17,471	7.3
その他の消費支出	41,804	19.6	47,484	19.8

図7 消費支出の費目別構成比の推移 (二人以上の世帯)

